

令和2年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号		授業科目名	ストレスマネジメント演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	高橋ゆかり		
		英語授業科目名	Stress management SeminarⅠ・Ⅱ		単 位	各 4	学 期	通 年
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし		他との関連			
履修条件	調査研究の手法および質的・量的分析に必要な研究理論・統計学の基礎的知識を有すること							
テーマ・副題	ストレスマネジメントに関する学術的科学論文の作成							
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	質的・量的分析を用いて、十分な根拠に基づく理論的で修士論文にふさわしい論文作成を行う。							
授 業 の 理解度の 到達目標	演習Ⅰ：質的・量的研究の手法を理解し、これらに伴う分析方法と結果の読み取りが正確にできる。 課題決定の上、研究計画書作成および倫理審査申請書の作成ができる。 演習Ⅱ：調査の円滑な実施、調査結果の正確な分析と、根拠に基づく論文作成ができる。							
授業キーワード	ストレス、コーピング、ストレス理論							
授業の内容	演習Ⅰ：先行研究の精読によりストレスマネジメントにおける課題を把握し、問題意識を明確化する。 研究計画書の作成、倫理審査受審のうえ、調査実施までを行う。 演習Ⅱ：調査結果の分析と考察、論文作成を行う。							
授業の方法	演習Ⅰ：先行研究のクリティークを受講生の発表および議論にて行う。 課題決定プロセスや必要書類作成等に必要な知識は、受講者が共有できるように行う。 演習Ⅱ：調査結果の進捗報告および結果分析・考察等、論文作成に向けた議論を行う。							
授業展開	【演習Ⅰ】 1～3回：修士論文作成の基礎知識 4～8回：先行研究論文のクリティーク 9～12回：課題決定と研究計画書作成 13～18回：倫理審査受審準備 19～30回：調査の実施				【演習Ⅱ】 1～10回：分析結果の報告と検討 11～20回：中間報告会の準備 21～25回：論文作成 26～30回：論文修正および最終発表会準備			
成 績 評価方法	参加状況（30%）、論文作成（70%）							
成 績 評価基準	成績は総合点で80点以上をA、79～70点がB、69～60点がC、それ以下をDとする。							
テキスト	適宜指示する							
参考図書	適宜指示する							
準備学習に必要 な時間、又はそれに準じ る程度の具体的 な学習内容	課題決定に必要な問題意識を高めるために、先行研究の精読・最新情報の収集等を主体的に行い、 修士論文作成が円滑に進むように準備しておく。 研究の進捗報告を常にできるように、研究進行状況「研究ノート」に記録しておく。							
学生への メッセージ	調査研究においては、対象者の都合等により、必ずしも計画通りに進まないことを十分に理解しておく必要がある（留年もあり得る）。							
オフィスアワー	メールによるアポイントで随時対応							
連 絡 先	電話番号	0274-20-2115（2660）		メールアドレス:	yukari@jobu.ac.jp			
人数制限	なし							